

看板の生産能力2倍

ビックワン

看板の企画・製造・施工を手掛けるビックワン(浜松市)は浜松市内に本社・工場を新設する。看板の企画・デザインから製造、施工、メンテナンスまで一貫して手掛けられるのが強みで、近年は受注が伸びている。新工場の稼働によって生産能力を現在の2倍に引き上げ、受注増に対応していく。



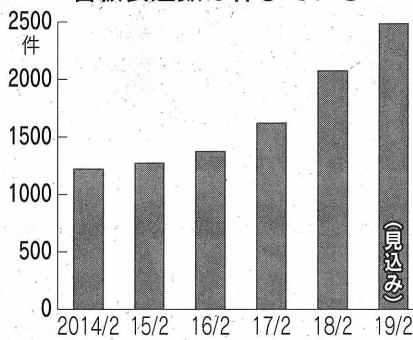
新たな本社・工場は19年8月をめぐりに完成する予定(イメージ)

浜松に本社・工場新設

企画からメンテ 一貫体制を推進

新たな本社・工場は浜松市北区に設ける。東名高速道路と新東名高速道路へのアクセスが良く、物流面での利便性が高い。敷地面積は5000平方メートルで、延べ床面積は1600平方メートル。2018年中をめどに着工し、19年8月をめどに完成する予定だ。総投資額は約6億円を見込む。現在の本社・工場(敷地面積約1000平方メートル)は当面、第2工場として利用していく。新工場は生産能力を段階的に高め、23年2月期には第2工場を含めた生産能力を現在の2倍に引き上げる方針だ。

看板製造数は伸びている



同社は看板の企画・デザインや製造、施工、メンテナンスのほか、設置許可など行政との調整も一手に引き受ける。こうした一貫体制が好評で、近年は受注が大きく伸びている。ただ、「自社で施工まで手掛けられるのは受注額の6割強にとどまっている」(小池康之社長)。残りは企画・デザイン・

高出力レーザー 連続照射

航空機部品加工 浜ホトが装置

従来はレーザーの発生光源にランプを使い、レーザーを照射できる回数

は1秒間に10回の10秒程度だった。繰り返しの発生が可能な半導体レーザーを使うことで、300

製造などを請け負い、施工は協力企業に委託しているのが現状だ。新工場の稼働や人員増により、内製化比率を高めていく。

静岡県内の企業ではハンバークレストランのさわやか(浜松市)や釣り具販売のイシクロ(同市)などとの取引実績がある。

また、東京の営業拠点や協力企業のネットワークを通じ、「全国どこでも仕事を請け負える体制を整備してきた」(小池)

県東部景況2期連続改善

7-9月民間調査 非製造業けん引

スルガ銀行系のシンクメータ7-9月の静岡県県東部の景況判断指数(DI)はプラス12.6だった。静岡県三島市)がまと

た。4-6月に比べ10.9ポイント上昇した。2期連続の改善で、非製造業がけん引役を果たした。10-12月期の予想DIはプラス21.0と一層の改善を見込む。

調査は8-9月に、富士川以東の県東部469社を対象に実施。238社から回答を得た。業種別DIは非製造業が16.3ポイント上昇のプラス11.9だった。卸・小売・サービス業が好調だった。製造業は3.3ポイント上昇のプラス13.8。

訪日外国人に着付け体験



静鉄プロパティは7月にも外国人留学生を対象に同様のイベントを行った

大道芸イベントに合わせ

静岡鉄道グループで商業施設の運営管理を担う静鉄プロパティマネジメント(静岡市)は22日、静岡市で開く大道芸ワールドカップに合わせて着付け体験イベントを実施すると発表した。外国人観光客を中心に、着物姿での市内観光を楽しんでもらう。需要を調査するとともに、今後も体験型の観光資源の開発を進める。

静鉄プロパティ 駿府城公園で来月

イベントは静鉄プロパティなどで構成する駿府城公園観光文化施設管理運営共同事業体が主催。大道芸ワールドカップ(11月1-4日)の期間中に行う。料金は忍者姿が2000円、侍姿と着物姿が3000円、色打ち掛けが5000円。駿府城公園内で受け付け、衣装を着たまま3時間ほど散策できる。甲冑(かっちゅう)での記念撮影や書道体験も用意する。

大道芸ワールドカップは今年で27回目。

スマホ使いIoT実験

中部電 家電を遠隔操作など